



The Field Ballet 2013 清里だけの清里にしかない感動

新 萌 聞 木

だいたい月刊

9月号

の 村

MOEGINOMURA
SHINBUN
Vol.3



発行：萌木の村
〒407-0301
山梨県北杜市高根町清里3545
tel.0551-48-3522
fax.0551-48-3550

Editorial:Nakajimagumi
Text:Hironori Nakajima
Photo&Illust:Masayuki Kobayashi
Design:Kikuno Shimizu

それは、ザ・ワールドバレエ 24回目の新たな第一歩

「THE」それは唯一無二の存在のものだけに冠せられる称号だ。第24回清里ワールドバレエには、その「THE」があえて冠された。野外でのバレエでは世界屈指の存在。ダンサーたちも本物が集う。「THE」を称す公演が実現できているのか、それを判断するのは観衆だ。そうありたいという祈りを込めたザ・ワールドバレエ。私は満足できた。



演じる者が心から楽しむからこそ
見る者の心を揺さぶることが出来る。
ロマンティックバレエの名作「ジゼル」一本に絞られた今年のワールドバレエ。演目を一つにすることでダンサーはそれぞれの役に深く入りきることが出来る。感動もそれだけ深くなる。舞台のクオリティも高くなる。



なによりダンサーは清里の大自然に包まれて踊ることが大好きだ。千秋楽を終えた打ち上げの席、ジゼルは言う。清里ワールドバレエとは「宝物」。もう一人のジゼルにとつては「奇跡」。笑顔の眩しいジゼルには「第二の故郷」だ。だって毎年夏は清里にいるんだもん。アルブレヒトは言う。それは「アドレナリン」。演じきった夜は飲んだくれないと眠れない。真面目なアルブレヒトは「フアンタスティック」と涙ぐみ、お茶目なアルブレヒトは「外でやるバレエ」とおちゃやらけつつ目に力を込める。ミルタにも思いがある。ワールドバレエとは、「ダンサー生活の中で最も贅沢な時間」だ。物静かなミルタは「私のバレエ」と胸のうちを明かし、陽気なミルタは「打ち上げ最高！」とはしゃぐ。すでに酔っぱらっている。ヒラリオンは言う：申し訳ありません。取材し忘れました。



総監督である今村博明にとつては「生きた証」。フランスで見た野外バレエを日本でも。その思いは現実に近づいているようだ。演じる者たちが愛し、心から楽しんで踊る清里ワールドバレエ。素晴らしいわががな。今年見逃した紳士淑女たちは、第25回公演を今から予約することを薦めする。





100点では、だめなんだ。 101点の舞台が見たい。

The URAKATA Peoples

男勝りなベッピンさんは
なんと舞台の仕切り役

舞台監督 伴美代子



「来てくれた人にはがっつり楽しんでもらいたい。劇場でのバレエ公演以上に」小柄なかわいい女性なのに、その言動はまるでおっさん。荒くれ者揃いの大工さんたちを見事に仕切る。「みんなやさしいジェントルマン。東京のださい男とは一味違う」お客様第一の舞台演出を心がける彼女の大敵は雨。「昔は少しの雨なら運動靴で踊ってもらったりしたんだけど、それじゃバレエじゃないし」他の仕事をキャンセルしてまでフィールドバレエにこだわる彼女、開演中は上手袖から舞台全体に気を配っている。「花火2分前です」今宵もインカムでスタッフに指示を送る。どすのきいた清らかな声で。

雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ
夏ノ暑サニモ負ケナイ、
イイ音ヲトドケタイ
音響 海老沼良太
(サウンドココナツ)



照明 古賀裕一郎(ライズ)

照明は普通に当てるだけで絵になる。

「見てください！この清里の大自然。素晴らしいダンサーの踊りに、この背景がくるんですよ。照明は普通に当てたらそれでいい。むしろ小細工なんかしない方がいい。素材そのものをご賞味くださいって感じです」くだらないギャグを飛ばしては舞台裏の現場を和ませるナイスガイは、実は恐いらしい。そんな優しい顔で怒鳴っても恐くないぞ！「フィールドバレエのスタッフはチームワーク抜群です。誰かが見逃したトラブルは絶対他の誰かが見つけて対処する。みんな本当に周りを覚悟して。えっ？来年ですか。もちろん照明やらさせていただきます」

今宵は8月10日。寂しすぎる夜

である。最終日なのである。明日から見られないのである。フィールドバレエが、ジゼルが...

去年まではなかったアクティン

グエリアが上手・下手に張り出した特設舞台が夕闇に包まれる。

さあいよいよジゼルの開演だ。

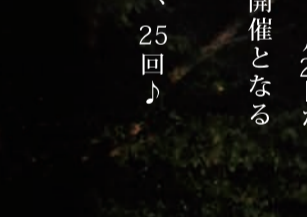
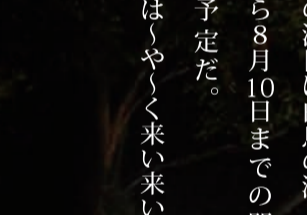
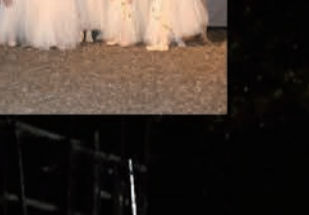
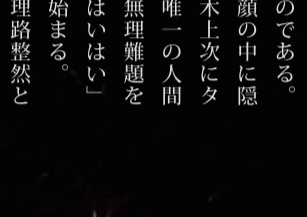
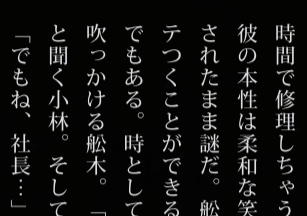
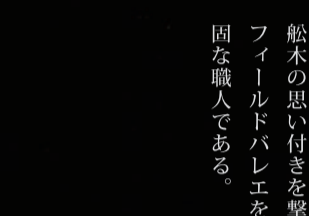
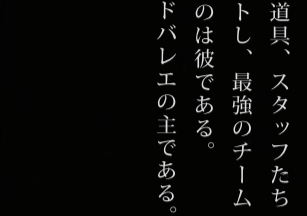
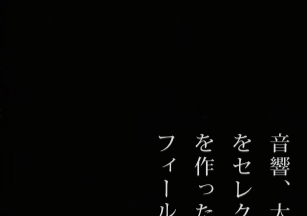
病弱だけどダンスの大好きな村娘ジゼル。彼女の恋するアルブレヒトは身分を偽った貴族。そしてジゼルに密かに心を寄せる森の番人ヒラリオン。美しくも哀しき愛憎劇が星空のもと繰り広げられる。もしも、もしも、

ジゼルのお話をご存知ないのなら、軽く勉強してから観劇されたい。物語を知ること、

ダンサーたちの素晴らしい踊りに込められた意味を理解することができる。フォーマルなイメージの強い劇場での公演とは違い、バレエ門外漢のあなたでも楽しめるのが、フィールドバレエのいいところなのだから。



Field Ballet



「音響の敵は、雨そして風。音はピーカンドと硬く、雨上がりだと丸くなる。風向きは刻一刻と変化する。分刻みで環境が変わるフィールドバレエ。いかに冷静に音の微調整をこなすか。それがここでの僕の役目です」照明の古賀が彼を評して「真面目です。真剣です。ねえ。リスベクトします」ギャグではない。こんなに素晴らしい音環境を作り出しているのにまだまだ完璧ではないと言う。「去年、ダンサーが踊る振動で一瞬音が飛んだ。今年来てみたら独立した音響小屋が建つてた。どんどん改善されていく。まだまだ良くなりますよ。清里フィールドバレエ」



「バレエは夢の世界なんだ」
怖い顔してメルヘンです。
ステージラフト 先崎豊



「朝、ステージに立って誰もいない観客席をぼくつと眺める。なんか違和感がある。そこには何かトラブルが起こっている。椅子席を固定する金具が抜けてたり」眼光鋭い大工の棟梁は、フィールドバレエをこよなく愛している。夢の世界などと似合わない言葉まで飛び出すほどに。「俺たちは家を建てるのはプロだけど、バレエ公演では素人。プロの仕事の邪魔をせずにスムーズな進行ができるようにサポートするだけさ」かっこいいじゃないか。笑うとかわいいじゃないか。監督、照明、音響、大道具、スタッフたちをセレクトし、最強のチームを作ったのは彼である。フィールドバレエの主である。



なんとかする。なんとかなる。
裏の立役者は今日も走る。
美術 小林雅之

第一幕、舞台下手で目を引くジゼルの家を描いたのは小林雅之である。上手のアルブレヒトの家も、二幕の墓も、描いたのは彼である。この萌木の村新聞に掲載されている全ての写真を撮影したのも彼ならば、小道具の剣や花撒き台や樽などを作ったのも彼である。リハーサル中に壊れた小道具は、本番までの数時間で修理しちゃうのである。彼の本性は柔和な笑顔の中に隠されたまま謎だ。船木上次にタテつくことができる唯一の人間でもある。時として無理難題を吹っかける船木。「はいはい」と聞く小林。そして始まる。「でもね、社長…」理路整然と船木の思い付きを撃破する。フィールドバレエを支える超頑固な職人である。

総合プロデューサー船木上次は言う。「ここ清里で育ったダンサーたちが世界の舞台で活躍し始めている。野外バレエを思い切って始めて、本当に良かった」全幕ものなんかとても演じられない小さな小さな舞台からスタートした清里フィールドバレエ。毎年毎年少しずつ進化しながら今日まで来た。「24年前舞台づくりや運営を担ってくれた裏方さんの2世たちが今のフィールドバレエを支えてくれている。それが何よりもうれしい」100点満点の舞台では飽き足らない船木の目指す101点の舞台とは？今後のフィールドバレエの進化に期待大である。第25回の演目は白鳥の湖。7月28日から8月10日までの開催となる予定だ。
はやくく来い来い、25回♪





2013 Paul Rush Dream Project

子供たちの元気が見たくて 今年も行きます東北へ

2年前のポール・ラッシュ・ドリーム・プロジェクト。仮設住宅前で行ったときのことだ。表情をなくしたおばあさんがいた。震災で家族全員を流されてしまったおばあさん。公演が終わり、ホッとしていると、そのおばあさんが近寄ってきた。「きれいだった。ありがと」小さく呟くその言葉がスタッフやダンサーに

このプロジェクトの意義を認識させてくれた。あのスタッフが言った。「元気をもらっていたのは、実は俺たちの方だったんだ」

「またきてね」ただただしく言ってくれた保育園児に、スタッフ全員が心をひとつにした。もちろん今年も参ります。ザ・フィールドバレエを演じたダンサーも参ります。4トトラックに巨大オールドゴール、ポール・ラッシュと夢と希望を詰め込んで。去年出逢えたあの笑顔に、もう一度会えるとうれしいな。

2013 清里フィールドバレエ 「ポール・ラッシュ・ドリームプロジェクト」全日程

9/9 (月) 岩手県久慈市

◇久慈市立大川目小学校

9/10 (火) 岩手県下閉伊郡岩泉町

◇岩泉町立小本小学校・中学
◇岩泉町立小本小学校・大牛内分校

9/11 (水) 岩手県釜石市大平町

◇釜石商工高校

9/16 (月) 宮城県気仙沼市

◇熊谷邸敷地内気仙沼みちびき地藏堂

9/12 (木) 宮城県石巻市

◇石巻市立大谷地小学校

9/13 (金) 宮城県宮城郡七ヶ浜町

◇七ヶ浜町立松ヶ浜小学校

9/14 (土) 宮城県角田市

◇宮城県角田市ミネ幼稚園 (予定)

9/15 (日) 宮城県伊具郡丸森町

◇丸森町耕野地区耕野小学校

9/17 (火) 宮城県亶理郡山元町

◇山元町立山下第一小学校

9/18 (水) 福島県 相馬市
もしくは福島市 (予定)

9/19 (木) 福島県いわき市 (予定)

ドリーム・プロジェクトをご支援ください。

●支援金受付
山梨中央銀行 高根支店
普通 154137
清里フィールドバレエ
心の震災復興プロジェクト
代表 船木上次

よろしくお申し込み申し上げます。

※ドリーム・プロジェクトについての詳しい情報は、萌木の村ホームページをご覧ください。事務局 (0551-48-3522) までお問い合わせください。



2012年のプロジェクトでは訪問した各地の小学生たちから、うれしい便りがいっぱい届きました!